

世界基準の安心安全都市
セーフコミュニティかごしま



a WHO initiative

セーフコミュニティ 3つの柱

1 みんなで
取り組む



2 根拠に基づいた
活動をする

例 高齢者の交通事故原因

1位	歩行中
2位	自転車乗用中
3位	自動車運転中

歩行者対象の
交通安全教室の開催

3 活動の成果を
測定し、評価する

例 交通安全教室参加者

○年	100人
→△年	200人

増加 ↑

高齢者(歩行中)の交通事故

○年	100件
→△年	50件

減少 ↓

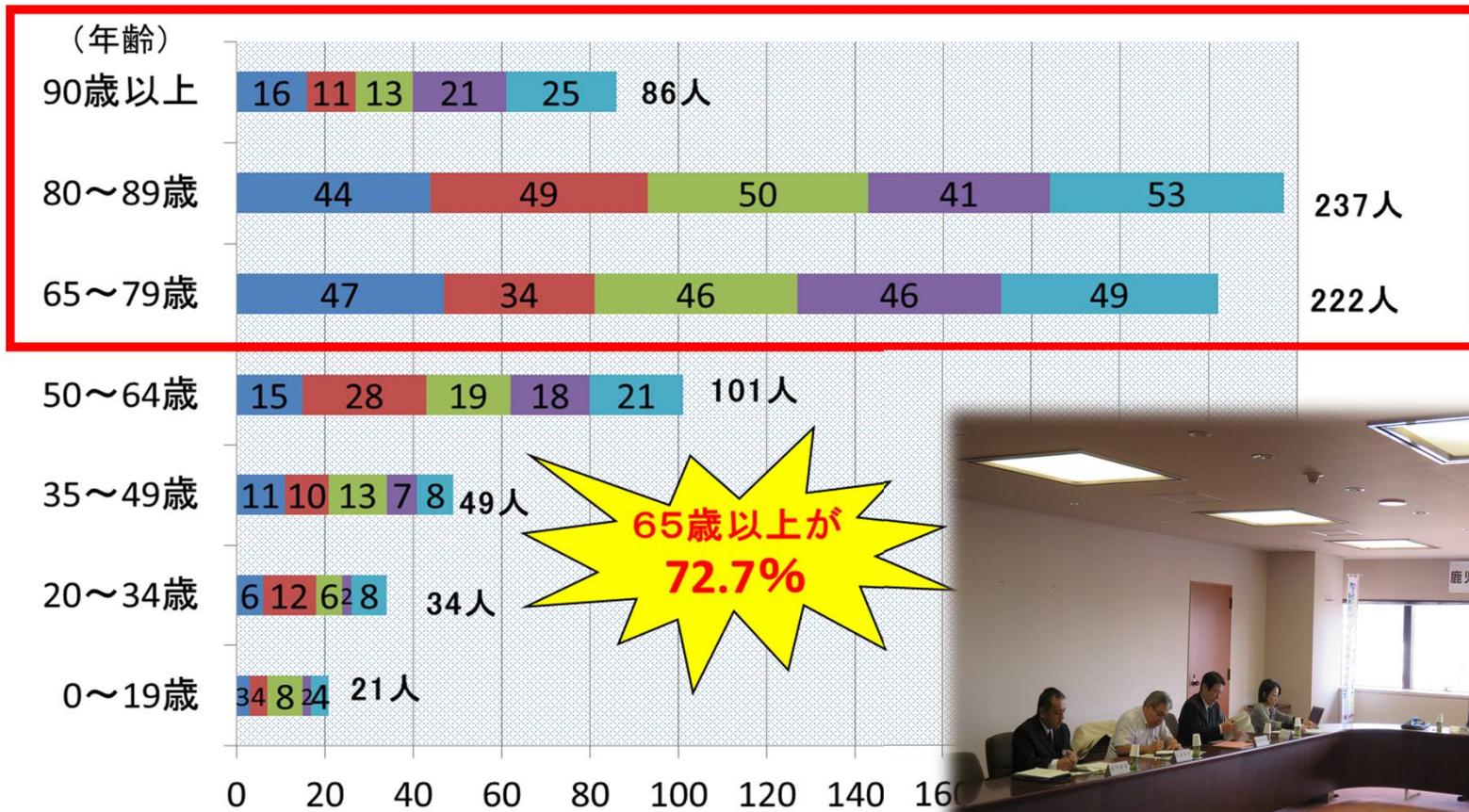


セーフコミュニティ推進協議会



外傷サーベイランス委員会

～ 不慮の要因による死亡者数 ～





自殺予防



子どもの安全



防災・災害対策



交通安全



高齢者の安全



学校の安全



DV防止

交通安全

具体的な目標

自動車による交通事故減少

高齢者の交通事故減少

子どもの交通事故減少

取り組み

A シートベルト着用の啓発活動

B 高齢運転者への安全運転講習等

C 企業等への交通安全講習等

D 参加・体験型の交通安全教室等

E 高齢者の世帯訪問による交通安全教育

F 夜光反射材の着用啓発

保護者等も含めた参加・体験型の交通安全教育等

G (歩行中の未就学児、小学生)

H (自転車乗車中の小中学生)

学校の安全

具体的な目標

市立小中学校の校内等での
けがの減少

取り組み

J 休憩時間（けがの多い時間帯）にけが防止を呼びかける「校内パトロール」

K 校庭・運動場など、けがの多い場所を示し、けが防止を働きかける「危険箇所マップづくり」

L 骨折など、けがの多い種類を示し、けが防止を働きかける「『危険』などの表示」

M 手や足（けがの多い部位）を示し、けが防止を働きかける「ポスターの掲示」

N 転倒など、けがの多い原因を説明し、けが防止を呼びかける「集会活動での呼びかけ」

O 人との接触、ひねるなど、中学校の部活動におけるけがの減少に向けた取組

子どもの安全

具体的な目標

家庭内等での事故・けがの減少

子育て中の親への支援

取り組み

P 家庭内での事故・けがに関する情報の発信（講習会）

Q 児童への安全教育

R 職員による室内、園庭等の安全点検

S 体力向上プログラム

T 子育てに悩みがある保護者の相談及び子育ての体験談の情報発信

U 児童虐待予防の学習会

高齢者の安全

取り組み

具体的な目標

高齢者の転倒による外傷の減少

V 転倒予防のための料理教室・講習会の実施

W 転倒予防教室の実施

X 住環境の改善

虐待や認知症への啓発・
理解の促進

Y 認知症に関する意識啓発

Z 民生委員・認知症見守りメイトによる
見守り活動

DV防止

具体的な目標

DVの正しい理解と気づきの促進

若年者に対する予防啓発の充実

取り組み

AA DV防止のための情報提供及び啓発

AB 相談員の資質の向上

AC DV防止のための情報提供及び啓発,
若者による若者のための暴力未然防止活動

AD DV防止のための情報提供及び啓発

自殺予防

具体的な目標

取り組み

中高年（50～69歳）の
自殺者の減少

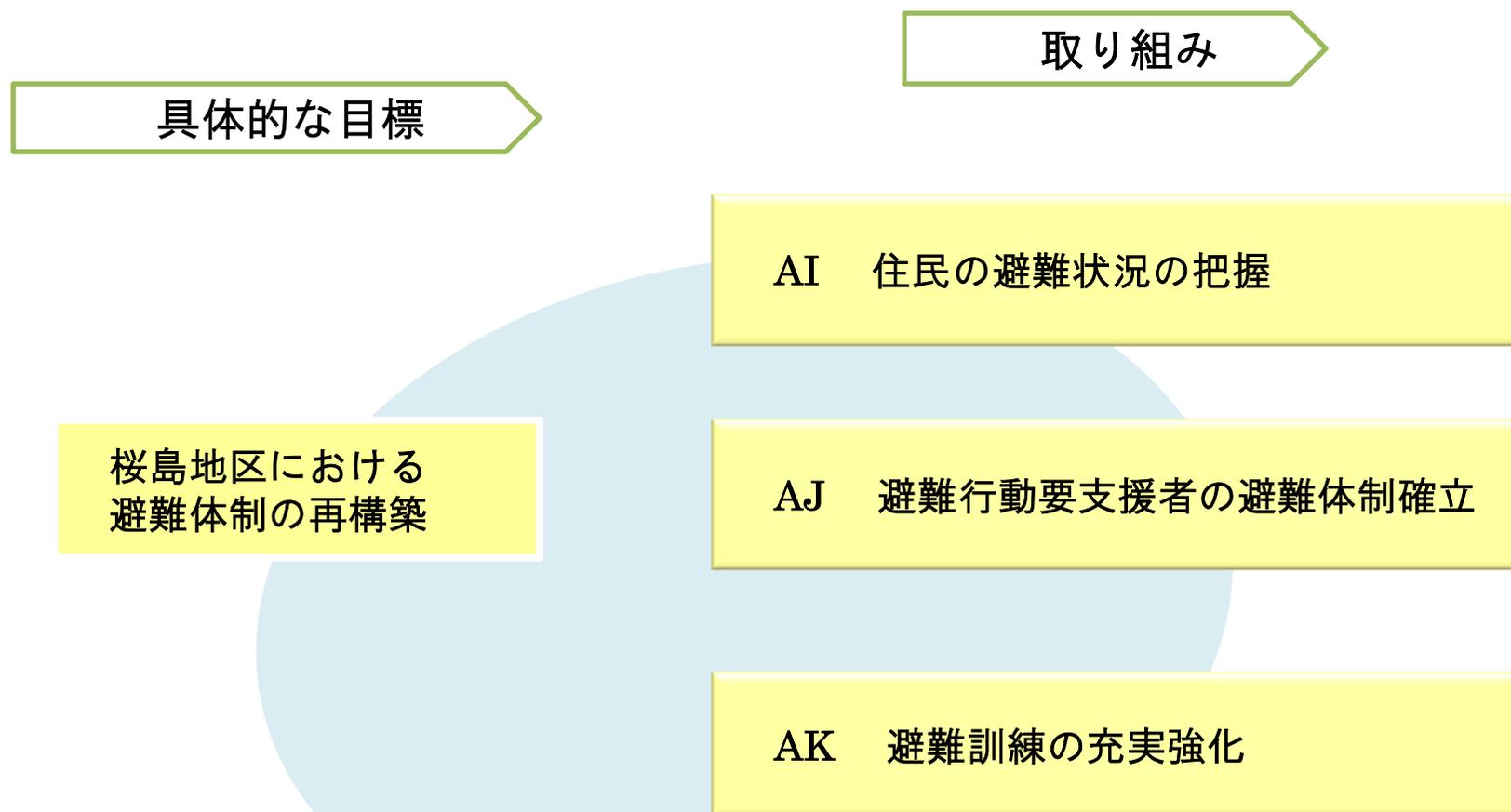
AE 自殺予防の普及啓発

AF 支援者への支援

AG 相談しやすい場の設定

AH 相談窓口の周知

防災・災害対策









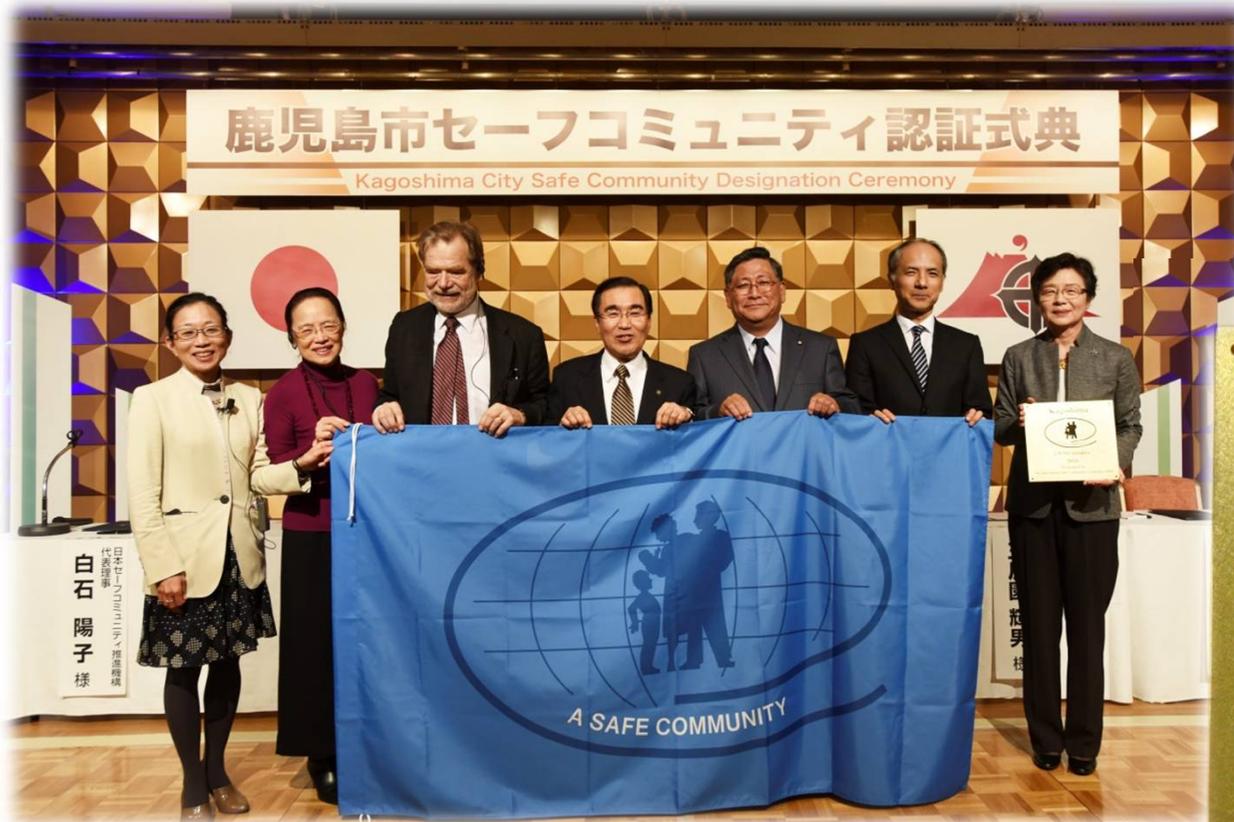
現地審査

平成27年9月29日～10月2日



認 証 式

平成28年1月29日



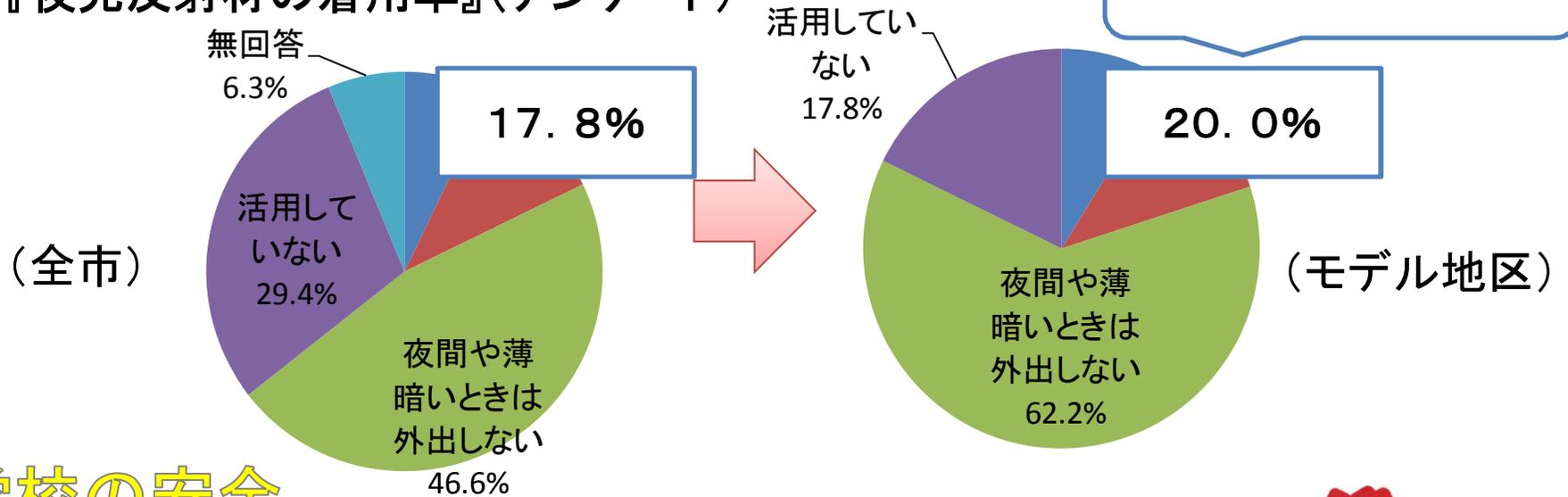
認証盾

祝 認証取得!

交通安全

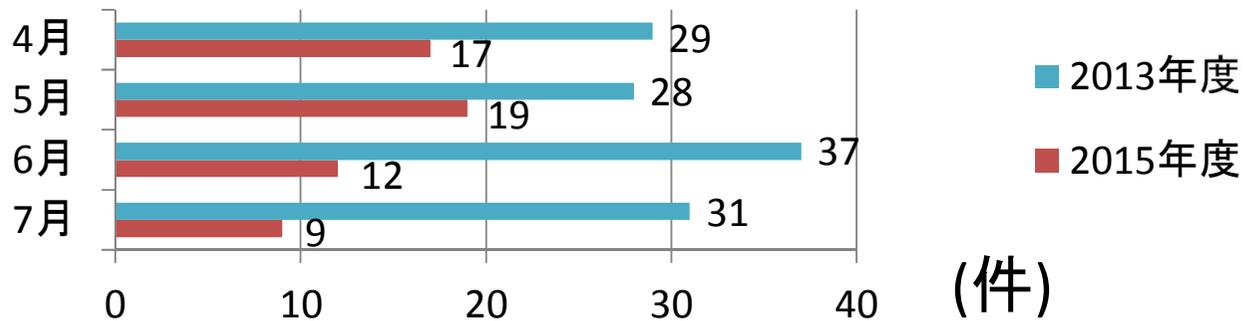
取り組みの成果

- 『夜光反射材の着用率』(アンケート)



学校の安全

- 『校内のけがの発生件数』(平川小学校)



(件)

市民共進の安心安全都市



人・まち・みどり みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま